

# 平成 25 年度 燕市西蒲原郡図工部 活動報告

部長 坂井直樹

## 1 研究主題 「子どもの思いをかきたてる題材の工夫」

### 2 研究の概要

- (1)学習指導要領の目標にある「つくりだす喜び」につながる、子どもの思いをかきたてる題材とは、について昨年度に引き続いて研修を深める。
- (2)部員自身による創作活動研修および授業研修を通して、指導力向上を図っていく。
- (3)研究の継続性を重視し、23年度・24年度に引き続いて25年度も同一講師を依頼し、研究の深化を図っていく。

### 3 研究の実際

開催日時・講師	研修内容
<b>【第1回】=創作活動研修</b> □6月5日(水)午後 □会場:島上小学校 □参加者16名  【講師】新潟大学附属新潟小 教頭 山田哲哉先生	<b>実技研修「BOX ART にチャレンジ」</b> ～子どもの思いをかきたてる題材の工夫のために～ ボックスアートとは、箱あるいは一定の閉じ込められた空間を素材にした表現であり、空間の内外に表現してみたい「自分だけの世界」を思いのままに表現していく。 参加者の興味を引き起こし、全員が創作意欲を高め、一人一人が自由に自己の感性のままに BOX ART を創作し、楽しむことができた。また図工授業のヒントを得た。
<b>【第2回】=授業研修</b> □12月4日(水)午後 □会場:松長小学校 □参加者16名  【講師】新潟大学附属新潟小 教頭 山田哲哉先生	<b>授業者:</b> (松長小) 峯島貴乃 教諭 <b>題材:</b> 1年「いろいろペッタン」身の周りの物を使い、写す活動でできる、様々な色や形の面白さに気付き、発想し、思い付いたことをいろいろ試す。その過程の中で、自分の表したいものを考え、見つけて表現していく。 <b>協議会:</b> 導入で材料の使い方の実演、教師作成の参考作品から子どものイメージがふくらみ、創作意欲が高まった。 <b>指導:</b> 学習指導要領のA表現(1)と(2)の両方を目指していたが、両方目指すのは難しい。鑑賞のさせ方について。見通しを持たせる鑑賞、表現に生かすための鑑賞、お互いのよさを認め合う鑑賞がある。

### 4 成果と課題

- (1)子どもを指導する私達自身の指導力向上を目指し、実技研修と授業研修の二本立てで研修を行った。参加者の多くから、それぞれの研修がとても参考になった、授業のヒントを得た、等の意見が寄せられた。
- (2)実技研修「BOX ART にチャレンジ」で、私達自身の感性を振り返ることができ、とても有益であった。
- (3)授業研修では対象が第1学年であった。低学年、特に1学年の図工では、保育園・幼稚園での表現活動の内容を十分理解したうえで、その関連を図った授業構成にしていかなければならない。